

工事監理状況報告書(鉄筋コンクリート造)

令和8年4月1日作成高崎市

完了検査

(あて先) 建築主事

令和 年 月 日

確認済証番号	令和 年 月 日 第 号	確認機関名
" (変更)	令和 年 月 日 第 号	確認機関名
工事場所	建築主氏名	

上記、建築物の工事監理状況について、建築基準法12条5項の規定により次のとおり報告します。

報告者	<input type="checkbox"/> 工事監理者	会社住所
	<input type="checkbox"/> 工事施工者	会社名
		報告者氏名

確認事項	確認を行う照合内容	照合方法※1	照合結果※2	備考
		A:目視 B:計測 C:その他		
1 確認表示板(法89)	1 建築確認表示板の設置	A	適:不適	
2 敷地の衛生及び安全性(法19)	1 がけ・擁壁の安全性、敷地の衛生及び安全	A:B:C	適:不適	
3 敷地と道路の関係 (法40 42 43)	1 道路の幅員	A:B:C	適:不適	
	2 道路に接する敷地の長さ	A:B:C	適:不適	
	3 敷地内通路、専用通路の幅及び長さ	A:B:C	適:不適	
	4 2項道路の後退	A:B:C	適:不適	
4 敷地形状、容積率、建ぺい率 (法52~54)	1 敷地形状及び高低差	A:B:C	適:不適	
	2 基礎形状(建物形状)	A:B:C	適:不適	
	3 建物配置(道路、隣地からの離れ)	A:B:C	適:不適	
5 道路斜線 (法56)	1 建築確認図書の立面図との照合	A:B:C	適:不適	
	2 道路、隣地、北側敷地境界線からの後退距離の確認	A:B:C	適:不適	
6 設備 (令129の2の4~7等)	1 浄化槽の仕様・処理能力	A:B:C	適:不適	
	2 配管・配線の種類・形状・寸法・設置状況等	A:B:C	適:不適	
	3 給排水設備の種類・形状・寸法・設置状況等	A:B:C	適:不適	
	4 ガス設備の形状・寸法・規格・性能等	A:B:C	適:不適	
7 外装仕上げ(法22、23、24、62、63)	1 屋根・外壁・軒裏材の仕上げ	A:B:C	適:不適	
	2 防火地域内等の開口部・外装等の仕様(法61~64)	A:B:C	適:不適	
8 耐火、準耐火建築物(法2)	1 主要構造部の仕様	A:B:C	適:不適	
9 特殊建築物等の内装(法35の2)	1 壁・天井の仕上げ	A:B:C	適:不適	
10 居室の採光・換気(法28)	1 間取り	A:B:C	適:不適	
	2 外壁の開口部の大きさ、機械換気設備の仕様	A:B:C	適:不適	
	3 火気使用室の換気設備	A:B:C	適:不適	
11 階段及び踊場(令23~26)	1 幅・蹴上げ・踏面の寸法、手摺	A:B:C	適:不適	
12 特殊建築物等の避難(法35)	1 避難施設(下記項目を除く)	A:B:C	適:不適	
	2 排煙設備(令126の2、126の3)	A:B:C	適:不適	
	3 非常用の照明装置(令126の4、126の5)	A:B:C	適:不適	
	4 非常用進入口(令126の6、126の7)	A:B:C	適:不適	
	5 敷地内通路(令128)	A:B:C	適:不適	
13 防火区画等	1 界壁(令22の3 令114)	A:B:C	適:不適	
	2 防火区画(令112)	A:B:C	適:不適	
	3 防火壁等(法26),延べ面積1,000㎡超	A:B:C	適:不適	
	4 避雷設備(法33) 20mを超える建築物	A:B:C	適:不適	
14 シックハウス対策 (法28の2、令20の5)	1 クロルピリホスの使用禁止	A:B:C	適:不適	
	2 内装下地材の種別	A:B:C	適:不適	
	3 接着剤の種別	A:B:C	適:不適	
	4 内装仕上げ材の種別	A:B:C	適:不適	

確認事項	確認を行う照合内容	照合方法※1		照合結果※2	備考		
		A:目視	B:計測				
		C:その他					
14 シックハウス対策 (法28の2、令20の5)	5 塗料の種別	A	B	C	適：不適		
	6 建具・造り付家具の種類	A	B	C	適：不適		
	7 換気区画・換気ルート	A	B	C	適：不適		
	8 換気設備機器の性能(換気風量)	A	B	C	適：不適		
	9 天井裏等の下地材	A	B	C	適：不適		
	10 気密層・通気止め	A	B	C	適：不適		
15 基礎・地盤(令38、79、告示1347)  (令77、78、79) (令73、告示1463) (令73、告示1463)  (令72、74、告示1102) (令76、告示110)	1 設計図書通りの地耐力が得られたか 確認方法 ( )	A	B	C	適：不適		
	2 地耐力が得られなかった場合の措置について 措置の内容 ( )	A	B	C	適：不適		
	3 杭種・工法・打設結果の確認	A	B	C	適：不適		
	4 径、長さ、本数	A	B	C	適：不適		
	5 杭偏芯の有無・処理(基礎・梁の補強)	A	B	C	適：不適		
	6 杭頭処理	A	B	C	適：不適		
	7 主筋・あばら筋等の本数、径及び間隔、かぶり厚	A	B	C	適：不適		
	8 主筋の定着	A	B	C	適：不適		
	9 継手の位置	A	B	C	適：不適		
	10 梁貫通補強	A	B	C	適：不適		
	11 コンクリートの品質・規格	A	B	C	適：不適		
	12 型わく及び支柱の除去	A	B	C	適：不適		
	13 基礎出来形(各部材の形状、寸法の確認)	A	B	C	適：不適		
16 基礎・上部共通	1 配筋仕様の別 <input type="checkbox"/> 大臣官房 <input type="checkbox"/> JASS <input type="checkbox"/> その他 ( )	A	B	C	適：不適		
	2 鉄筋の品質・規格(ミルシートの確認)	A	B	C	適：不適		
	3 継手の接合方法 ( )	A	B	C	適：不適		
	4 継手試験方法・結果 <input type="checkbox"/> 引張り <input type="checkbox"/> 超音波探傷	A	B	C	適：不適		
17 上部構造	全体 (令73、79)  柱(令77)	1 鉄筋の乱れ、踏み荒らし、波打ち、たるみの有無	A	B	C	適：不適	
		2 柱、梁、耐力壁、スラブの配置	A	B	C	適：不適	
		3 かぶり厚さの状況	A	B	C	適：不適	
		4 型枠中の清掃状況(木片、その他のゴミ)	A	B	C	適：不適	
		5 主筋本数、径、配置方向(次階の主筋を含む)	A	B	C	適：不適	
		6 各階止まり柱頭主筋の止まり高さとの定着状況	A	B	C	適：不適	
		7 柱仕口部分の帯筋の径、間隔	A	B	C	適：不適	
		8 第一帯筋の位置と柱頭拘束帯筋の有無	A	B	C	適：不適	
	梁(令78)	9 主筋、あばら筋、腹筋、幅止め筋の状況	A	B	C	適：不適	
		10 主筋の定着方法、長さ	A	B	C	適：不適	
		11 中吊り筋の位置	A	B	C	適：不適	
		12 継手の位置、長さ(重ね継手の場合)	A	B	C	適：不適	
		13 片持ち梁の主筋の位置と定着	A	B	C	適：不適	
		14 貫通孔の位置、補強方法	A	B	C	適：不適	
		15 ハンチ部分のあばら筋補強	A	B	C	適：不適	
	スラブ	16 主筋方向、径、間隔、スラブ厚	A	B	C	適：不適	
		17 定着方法、長さ	A	B	C	適：不適	
		18 継手の位置、長さ	A	B	C	適：不適	
		19 片持ちスラブの定着と上端筋位置	A	B	C	適：不適	
		20 隅部、開口部、設備配管に対する補強	A	B	C	適：不適	
	壁	21 縦筋の定着方法、長さ	A	B	C	適：不適	
		22 壁交差部の縦筋補強	A	B	C	適：不適	

確認事項	確認を行う照合内容	照合方法※1		照合結果※2	備考
		A:目視	B:計測		
17 上部構造	全体	23	スリットの位置、施工状況	A : B : C	適 : 不適
	その他	24	設備配管(CD管等)の配置	A : B : C	適 : 不適
18 外皮性能		1	(該当する場合は省エネ基準工事監理状況報告書参照)	A : B : C	適 : 不適
19 一次エネルギー消費量		1	(該当する場合は省エネ基準工事監理状況報告書参照)	A : B : C	適 : 不適
20 其他 ※3				A : B : C	適 : 不適
				A : B : C	適 : 不適
				A : B : C	適 : 不適
				A : B : C	適 : 不適
				A : B : C	適 : 不適

※4 その他の照合方法	

検査に用意する図書の例	確認関係図書	■確認申請図書 ●告示第1347号による基礎構造図
	工事監理記録	■支持地盤確認 ■配筋検査 ■屋根材接合確認
		■断熱施工確認 ■一次エネ設備確認 ■埋設・隠蔽配管確認
		■完了検査 ■その他検査・確認
	使用材料の品質を示す書類	●鉄筋ミルシート ●コンクリート納入書・試験結果等
●使用材料品質証明書		
▲屋根・外壁納品書 ●断熱材・サッシ・ガラス納入仕様書等		
■内装材等納品書(シックハウス) ▲内装材納品書(内装制限)		
検査結果報告書	●杭工事施工結果報告書 ●コンクリート工事施工結果報告書	
	●自主検査報告書	
※5 其他	●工事写真※6 ●認定・評定書の写し ●施工要領書	

※1 照合方法は、A : B : Cに○印を記入して下さい。(該当しない項目は記入しないで下さい)

※2 照合結果は、「適」・「不適」のいずれかに○印を記入してください。工事施工者が注意に従わなかった場合は「不適」に○印を記入し、建築主に対し報告した内容を備考に記入して下さい。

※3 確認事項の項目にないものは、「20その他」の欄に記入してください。例として、県条例による制限や、増築等で既存改修がある場合には「その他」に記載してください。

※4 照合方法が「C:その他」の場合は、その項目番号とその他照合の動作や試験結果成績書等による具体的方法を記入して下さい。

※5 「■」「▲」「●」の記号は、当該書類の用意に関する区分で、内容は以下のとおりです。なお、該当しない項目に係る書類(例えば、省エネ外皮基準適用外の非住宅の場合の断熱等関係書類)や、中間検査時にすべて検査が終了している書類については検査に用意不要です。

■: 用意する書類

▲: 令第10条第3号建築物(防火地域等外の一戸建て住宅)の場合は用意不要(建築士により工事監理された場合に限る)

●: 法第6条の4第1項第3号建築物の場合は用意不要(建築士により工事監理された場合に限る)

※6 法7条の5(検査の特例)の適用の場合、「基礎配筋」「軸組及び仕口その他の接合部」「屋根小屋組」の写真を、完了検査申請書に添付してください(中間検査前の工事に係るものは除く)。